| 科目ナンバリング | U-LAS05 10007 LJ23 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名<英訳> | 人文地理学<br>Human Geography | | 担当者所属職名・氏名 | 人間・環境学研究科 教授 | 山村　亜希 |
| 群 | 人文・社会科学科目群 | 分野(分類) | 地域・文化(基礎) | 使用言語 | 日本語 |
| 旧群 | A群 | 単位数 | 2単位 | 週コマ数 | 1コマ | 授業形態 | 講義（対面授業科目） |
| 開講年度・開講期 | 2026・前期 | 曜時限 | 金4 | 配当学年 | 全回生 | 対象学生 | 全学向 |

**[授業の概要・目的]**

人文地理学は、現代・過去における諸事象が、なぜその立地で、その形態で成立／展開するのかを、空間という土台の上で考える学問である。それは「地（場所・空間・景観・地域）」の「理（ことわり・しくみ・成り立ち）」を解くことでもある。本授業の目的は、このような人文地理学の「地」の「理」を解く視点と方法を理解することにある。本授業では、様々な地域・時代の多様な現象を、人文地理学の視点と方法から解く考察プロセスを解説する。そのとき、地形図の読図やグループでのディスカッションも併せて行う。

　高校で地理を履修していなくても良いが、地理・地図・歴史への興味関心は持って欲しい。地形図への着色作業や地名探しなどの手作業を面倒がらず、積極的に地図に向き合う態度を期待する。

**[到達目標]**

人文地理学の基本的な視点・方法を理解し、多様な人文現象を地理学的にとらえる発想力を読図を通して養う。

**[授業計画と内容]**

授業の進行状況に応じて、順番やテーマを変更することもある。

第1回　授業の概要
第2回　大都市郊外の空間と社会ー愛知県長久手市ー
第3回　地図から読む歴史ー京都ー
第4回　京都郊外の地形図を読む―京都府向日市―
第5回　京大生の出身地の地理的分布を考える
第6回　読図からフィールドへー石川県小松市ー
第7・8回　日本史を地形図と読むー桶狭間の合戦ー
第9回　期末レポートとその参考例の読図
第10回　城下町から現代都市へ―石川県金沢市―
第11回　鉄道と住宅地開発ー京都府向日市ー
第12回　温泉観光都市の地形図読図
第13回　散村の形成と維持ー富山県砺波平野ー
第14回　総括
第15回　フィードバック（フィードバック期間中に行う）

**[履修要件]**

特になし

人文地理学(2)へ続く↓↓↓

**人文地理学(2)**

**[成績評価の方法・観点]**

期末レポート60%、平常点（授業への参加状況、小テスト）40%

**[教科書]**

毎回、地図を中心とした大判のプリント（A3サイズ・2枚程度）を配布する。複数回で連続で使用し、前回の読図・着色作業を前提として講義を続ける場合も多いので、前回分も持参すること（ファイリングして持参がベター）。

**[参考書等]**

（参考書）
授業中に紹介する

**[授業外学修（予習・復習）等]**

授業後に授業を振り返りながら、小テストに回答することが復習となる。また、授業中に終了しなかった読図・着色作業を行いつつ、授業内容を振り返る。

**[その他（オフィスアワー等）]**

授業中に地図や図表に着色するなどの作業を行うことがあるので、色鉛筆・マーカー（赤・青・黄色・緑の4色）や色ペン複数色を持参する。

**[主要授業科目（学部・学科名）]**

総合人間学部